

平成25年3月 第108回

大野・勝山地区広域行政事務組合議会 定例会 会議録（第1日）
議 事 日 程（第1号）

平成25年3月26日（火）
午前10時00分 開 議

- 第1 会議録署名議員の指名
第2 会期の決定
第3 議案第1号 平成25年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計予算
議案第2号 平成25年度大野・勝山地区広域行政事務組合ふるさと市町村圏
振興事業特別会計予算
議案第3号 大野・勝山地区障害者介護給付市町村審査会の設置に関する条例
の一部改正について

出 席 議 員（9名）

1番	帰山寿憲君	2番	山内征夫君
3番	倉田源右エ門君	5番	北山謙治君
6番	山崎利昭君	7番	永田正幸君
8番	高岡和行君	9番	島口敏榮君
10番	本田章君		

欠 席 議 員（1名）

4番 安居久繁君

説明のため出席した者

管理者	山岸正裕君	副管理者	岡田高大君
参事	松村誠一君	参事	下河育太君

愛護センター
所長 梅田幸重君

会計管理者 宮塚龍二君

企画財政部長 石倉充男君

秘書政策局長 田中雄一郎君

事務局長 三屋修一君

事務局次長 戸田高博君

書記

書記長 鳥山昌久

書記長補佐 鳥山健一

書記 今井正敏

議事

(午前10時04分 開会)

○ 議長 (高岡和行君)

これより、平成25年3月第108回大野・勝山地区広域行政事務組合議会定例会を開会いたします。

本日の議事日程は、お手元にお配りしたとおりであります。

直ちに本日の会議を開きます。

この際、諸般の報告をいたします。

本日の欠席届が安居久繁君より参っておりますので、御報告いたします。

以上で諸般の報告を終わります。

これより、日程に入ります。

日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員は、会議規則第73条の規定により、議長において、

5番 北山謙治君

6番 山崎利昭君

の両名を指名いたします。

次に、日程第2「会期の決定」を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期につきましては、先刻、議会運営委員会において協議の結果、本日から28日までの3日間とすることで意見の一致をみておりますので、そのようにいたしたいと思っております。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

○ 議長 (高岡和行君)

御異議なしと認めます。

よって、会期は本日から28日までの3日間と決定いたしました。

次に、日程第3、

議案第1号 平成25年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計予算

議案第2号 平成25年度大野・勝山地区広域行政事務組合ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算

議案第3号 大野・勝山地区障害者介護給付市町村審査会の設置に関する条例の一部改正について

以上の3件を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

管理者、山岸君。

(管理者 山岸正裕君 登壇)

○ 管理者 (山岸正裕君)

おはようございます。

第108回大野・勝山地区広域行政事務組合議会定例会の開会に当たり、当組合の主要な事業の取り組み状況について申し述べますとともに、ただいま上程されました平成25年度当初予算案をはじめとする各議案の概要を御説明申し上げます。

当圏域の重要課題であります中部縦貫自動車道整備につきまして、永平寺大野道路では、勝山・大野間が今月24日から供用開始となり、北陸自動車道への接続に大きなはずみとなりました。今後は、全線開通に向けて、大野油坂道路の大野東・和泉間、和泉・油坂間での一日も早い工事着手と、大野・大野東間の早期事業化につきまして、国や県に強く要望してまいります。

それでは、当広域行政事務組合の今年に入ってから主な事業の取り組み状況につきまして、その概要を申し上げます。

まず、一般廃棄物処理施設ビュークリーンおくえつは、稼働開始から6年半が経過いたしますが、この間、大きなトラブルもなく、安定した廃棄物処理を行っており、また施設についても定期点検や補修の実施などにより良好な運転に努めております。今後は稼働年数の経過とともに、経年劣化による補修等の増加が見込まれるため、補修箇所を早期対応

や計画的な整備などにより、安定した運転に心がけてまいります。また、運転経費につきましても、円安などによる燃料価格の上昇や光熱水費の増加が予想されることから、使用量の削減の方策について、引き続き検討するとともに、その他の経費も見直しを図るなど、経費の抑制に努めてまいります。

次に、最終処分場エコバレーにつきましては、埋め立てが順調に進んだこともあり、新たな土堰堤を増設し、25年度からの埋め立てに備えております。現在、埋立地内の雨水排除対策や適正な運転管理により、水処理は安定しております。今後も放流水の水質基準を遵守するとともに、埋め立て及び施設の維持に細心の注意を払い、適正管理に努めてまいります。

次に、介護認定審査会運営事業及び障害者介護給付市町村審査会運営事業について申し上げます。

介護認定審査会の平成24年度の状況は、今年2月末現在で審査会を110回開催し、昨年同期に比べ341人多い、延べ3,196人の認定審査を行っております。

また、障害者介護給付市町村審査会は2月末現在で29回開催し、156人の審査を行っております。高齢化の進展に伴い、介護に対するニーズが増大する中、国の認定基準に沿った公平公正かつ適正な審査を行うとともに、今後も審査会の円滑な運営を図ってまいります。

次に、青少年健全育成事業について申し上げます。

奥越青少年愛護センターでは、青少年の健全育成と非行防止のため、170名の補導委員が中心となり、地域に密着した街頭補導と愛の一声運動を推進しているほか、青少年指導員による面接及び電話による相談活動などを実施しております。愛の一声運動では、平成

24年度2月末現在で721人への声かけを行い、相談活動では電話相談が30件あり、異性問題や学業に関する相談が全体の7割を超えております。

また、青少年を取り巻く社会環境の状況を把握するため、奥越管内の書店やレンタルショップに対しまして、有害図書、有害ビデオ等の取り扱いについて実態調査を行い、売り場環境の改善要請や指導を行ったところであります。

平成24年度の善行青少年表彰につきましては、2月13日に社会福祉や環境美化など、すぐれた活動に取り組んだ19の個人、団体を顕彰したところであります。今後とも地域や関係機関と連携を図りながら、青少年の健全育成と非行防止のため、各種取り組みに努めてまいります。

次に、広域観光推進について申し上げます。

当組合では奥越前観光連盟や環白山広域観光推進協議会など広域観光に取り組んでおりまして、この冬の事業では、九頭竜テラル高原推進協議会において、知名度の向上と新たなスキー客の掘り起こしを行うために、主に若いファミリー層を対象とした「九頭竜テラル高原ですべルンバ」をテーマにプレゼントキャンペーンを実施いたしました。パソコンや携帯電話からは県内を中心に3,953件の応募があり、抽選で80組に、また県内外スポーツ用品店での抽選会では60組の方々に圏域内4スキー場の共通リフト券をプレゼントいたしました。今後も大野市、勝山市、さらに両市の観光協会と連携いたしまして、効果的な広域観光を推進してまいりたいと考えております。

それでは、本日の定例会に提出の各議案の概要について御説明を申し上げます。

まず、平成25年度一般会計予算では、12億1,605万3,000円を計上しており、最終処分場

の土堰堤建設事業の終了などにより、前年度当初予算より526万7,000円の減となっております。

また、ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算は、559万2,000円を計上しており、前年度当初予算より18万4,000円の減となっております。

そのほか、大野・勝山地区障害者介護給付市町村審査会の設置に関する条例の一部改正についてであります。これらの議案については、後ほど事務局長からその詳細を説明させていただきますので、よろしく御審議の上、妥当な御決議を賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

○ 議長（高岡和行君）

事務局長、三屋君。

（事務局長 三屋修一君 登壇）

○ 事務局長（三屋修一君）

上程されました議案第1号から議案第3号まで、順次説明を申し上げます。

最初に、

議案第1号 平成25年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計予算について説明いたします。

第1条 歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ12億1,605万3,000円と定めるものがございます。前年度に比べ、526万7,000円、0.4%の減となっております。

第2項 歳入歳出予算の款項の内容及びつきましましては、後ほど第1表 歳入歳出予算により説明いたします。

第2条 一時借入金につきましましては、限度額を前年度と同額の1億5,000万円といたしております。

また、歳出予算の流用につきましましては、第3条に記載のとおりでございます。

1ページをお開きください。

第1表 歳入歳出予算の歳入から説明いた

します。

1款 分担金及び負担金10億8,318万円は、構成市であります大野市、勝山市からの負担金で、前年度に比べ722万5,000円、0.7%の減となっております。この主なものは、歳出の衛生費の減額などによるものでございます。

2款 使用料及び手数料5,860万1,000円の主なものは、一般廃棄物持ち込み手数料で、前年度に比べ96万円の増を見込んでおります。

3款 国庫支出金31万8,000円は、障害者介護給付市町村審査会事業に対する国からの補助金でございます。

4款 県支出金409万7,000円は、県からの派遣職員に係る人件費及び愛護センター事業に対する補助金でございます。

5款 財産収入50万8,000円は、減債基金の利子収入でございます。

6款 繰入金2,700万1,000円では、うち2,700万円が減債基金の繰入金でありまして、公債費の償還に充てるものでございます。

7款 繰越金では、費目設定のため1,000円を計上しております。

8款 諸収入4,234万7,000円の主なものは、アルミや破砕鉄などの再資源化物売却代でございます。

次に、2ページの歳出について説明いたします。

1款 議会費49万2,000円は、組合議会の運営に要する経費でございます。

2款 総務費6,989万3,000円の主なものは、職員人件費、青少年愛護センター経費及び特別会計の繰出金などでございます。

3款 民生費1,056万5,000円は、介護認定審査会及び障害者介護給付市町村審査会の運営に要する経費で、制度改正などにより前年度に比べ118万3,000円、10.1%の減となっております。

4款 衛生費6億8,370万4,000円は、主に

ガス化溶融施設やリサイクルプラザ、最終処分場に要する経費で、前年度に比べ485万8,000円、0.7%の減となっております。

5款 公債費は4億5,089万9,000円を計上し、そのほとんどが一般廃棄物処理事業債の元利償還金でございます。

6款 予備費は前年度と同額の50万円でございます。

続きまして、

議案第2号 平成25年度大野・勝山地区広域行政事務組合ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算について説明を申し上げます。

第1条 歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ559万2,000円といたすものでございます。

内容につきましては、第1表 歳入歳出予算により説明いたします。

1ページをお開きください。

歳入から説明いたします。

1款 財産収入110万円は、ふるさと市町村圏基金の利子収入でございます。

2款 繰入金449万1,000円は、一般会計からの繰入金でございます。

3款 繰越金は、費目設定のため1,000円を計上しております。

次に、2ページをお開きください。

歳出について説明いたします。

1款 総務費6万5,000円は、事務費等でございます。

2款 ふるさと市町村圏振興事業費552万7,000円は環白山観光推進協議会及び福井坂井奥越広域観光圏推進協議会の負担金、並びに奥越前観光連盟及び九頭竜テラル高原推進協議会への補助金でございます。前年度に比べ17万7,000円の減額となっております。

次に、

議案第3号 大野・勝山地区障害者介護給

付市町村審査会の設置に関する条例の一部改正について

説明いたします。

1枚おめくりください。

表の中の太字のところでございますが、本案は障害者自立支援法の一部改正によりまして、同法の題名が、改正後のところございますが、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に改められるため、条例改正を行うものでございます。

なお、この条例は平成25年4月1日から施行するものでございます。

以上、説明を申し上げます。

○ 議長（高岡和行君）

以上で、本日の日程が全部終了いたしました。

議案に対する質疑、並びに一般質問は28日に行います。

通告は、明日正午までをお願いいたします。

本日は、これにて散会いたします。御苦労さまでした。

（午前10時21分 散会）